

しんちゃんの森整備

4月21日（土）酒田市宮海の西荒瀬保育園に隣接する国有林 1131 林班い1 小班（「しんちゃんの森」（遊々の森））で森林整備を実施しました。

当日は晴天となり暖かく絶好の作業日和になりました。年長組園児の保護者 14 名、保育園の先生 15 名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター 4 名、酒田市農林水産課 1 名、万里の松原に親しむ会 8 名の総勢 42 名で「しんちゃんの森」の整備を行いました。

西荒瀬保育園で取り組んでいる「みどりの保育園推進事業」は、山形県が実施している県民みんなで支える森・みどり環境公募事業からの支援を得て行っているもので、園児の保護者にも主な活動計画を説明しました。

「しんちゃんの森」の整備は、園児達がより良い林内環境で遊べるようにと保育園が計画したもので今年度は2回行う予定です。

「しんちゃんの森」は、平成 22 年度の春から整備をしているおかげで、園児達が遊び易い環境にもなってきました。今回の整備は、4月3日にあった爆弾低気圧で散らばっているクロマツの枝葉の後片付けと切株の堀取り及びツタウルシの除去の三つの作業を行いました。

切株堀取り作業には、男性の保護者等に行ってもらいました。唐鋤を使用することが初めての方がほとんどだったことから、当センター職員が唐鋤の使い方や安全作業について、きめ細かく指導を行って作業にかかってもらいました。また、ツタウルシ除去作業については、女性の保護者や保育園の先生に行ってもらいました。作業に際しては、当センター職員がウルシによるかぶれを防ぎながら安全に行う方法等を指導してから行いました。切株堀取り作業では、大物の株にも挑戦し、唐鋤の刃先を曲げる力持ちの保護者の方もいました。ツタウルシ除去作業では、クロマツに巻き付いているツルや根元のツルの除去に力を合わせていました。約 1 時間ほどの作業でしたが、参加者全員の頑張りで「しんちゃんの森」が見違えるほど綺麗になりました。ある保護者の方からは、このような良い環境で子供達を遊ばせることができることがありがたいと意見も頂きました。

終わりの会では、6月9日（土）にも草刈作業が計画されていることを保護者の皆さんに伝えるとともに、これからも、「しんちゃんの森」の整備をとおして、園児達が安全に遊ぶことができる環境づくりに取り組んで行くことを園児の保護者の皆さんと確認しました。



(フォトレポート)



忙しいところ門田理事長も駆けつけてくださいました



万里の松原に親しむ会から三沢会長を始め8名の皆さんが参加して下さいました



春の訪れとともにアマガエルの活動も活発化したようです



クロマツに絡みつ়くキヅタ



春の恵みアマドコロもちらほらと



最後に園長からお礼の挨拶